ホット・アンド・コールド: なぜ米国の雇用市場はケイティ・ペリーの歌 に似ているのか?



英国は6.5%という高水準 の政策金利に備えるべき: 予測を引き上げた理由

6.5%

2023年末までに 金利が6.5%になり ピークに達すると 私たちは予想している

金利上昇は 2023年末 には反映され、 その後景気後退に 陥ると予想される

これは5.0%という 前回予想よりも 1.5%も上方修正 している



FRBがインフレ抑制に苦慮する 理由の一つ一超低金利からの調整

金利とインフレ

米国政策金利

コアCPI上昇率



ノーベル賞を受賞したエコノミストのミルトン・フリードマンは、金利がインフレに与える影響にはタイムラグがあると語っている・・・



米国経済は懐疑論に反し、急激な利上げにもかかわらず、底堅く推移



金利がインフレ率に近づき、コントロール できたとみなされる水準に戻るには時間がかかろう

出所:各種資料をもとにシュローダー作成。2023年7月現在

【**本資料に関するご留意事項**】本資料は、情報提供を目的として、シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社(以下「弊 社」といいます。)が作成、あるいはシュローダー・グループの関係会社等が作成した資料を弊社が和訳および編集したものであり、い かなる有価証券の売買の申し込み、その他勧、誘を目的とするものではありません。英語原文と本資料の内容に相違がある場合に は、原文が優先します。本資料に示されている運用実績、データ等は過去のものであり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証す るものではありません。投資資産および投資によりもたらされる収益の価値は上方にも下方にも変動し、投資元本を毀損する場合が あります。また外貨建て資産の場合は、為替レートの変動により投資価値が変動します。本資料は、作成時点において弊社が信頼 できると判断した情報に基づいて作成されておりますが、弊社はその内容の正確性あるいは完全性について、これを保証するものでは ありません。本資料中に記載されたシュローダーの見解は、策定時点で知りうる範囲内の妥当な前提に基づく所見や展望を示すもの であり、将来の動向や予測の実現を保証するものではありません。市場環境やその他の状況等によって将来予告なく変更する場合 があります。本資料中に個別銘柄、業種、国、地域等についての言及がある場合は例示を目的とするものであり、当該個別銘柄等 の購入、売却などいかなる投資推奨を目的とするものではありません。また当該銘柄の株価の上昇または下落等を示唆するものでも ありません。予測値は将来の傾向を例示することを目的とするものであり、その実現を示唆あるいは保証するものではありません。実際 には予測値と異なる結果になる場合があります。本資料に記載された予測値は、様々な仮定を元にした統計モデルにより導出され た結果です。予測値は将来の経済や市場の要因に関する高い不確実性により変動し、将来の投資成果に影響を与える可能性が あります。これらの予測値は、本資料使用時点における情報提供を目的とするものです。今後、経済や市場の状況が変化するのに 伴い、予測値の前提となっている仮定が変わり、その結果予測値が大きく変動する場合があります。シュローダーは予測値、前提とな る仮定、経済および市場状況の変化、予測モデルその他に関する変更や更新について情報提供を行う義務を有しません。本資料 中に含まれる第三者機関提供のデータは、データ提供者の同意なく再製、抽出、あるいは使用することが禁じられている場合があり ます。第三者機関提供データはいかなる保証も提供いたしません。第三者提供データに関して、弊社はいかなる責任を負うものでは ありません。シュローダー/Schroders とは、シュローダー plcおよびシュローダー・グループに属する同社の子会社および関連会社等を 意味します。本資料を弊社の許諾なく複製、転用、配布することを禁じます。

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第90号

加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会